

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-93734(P2007-93734A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-279943(P2005-279943)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/10 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 15/10

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潜像担持体と、

極性を有するトナーとキャリア液とを含む液体トナーを用いて前記潜像担持体に対して現像を行う現像部と、

第 1 面及び前記第 1 面とは異なる第 2 面を有し、前記現像部で前記潜像担持体に現像された像が前記第 1 面に転写される転写ベルトと、

前記像を潜像担持体から前記転写ベルトに転写させる一次転写部と、

前記第 2 面から帯電させるコロナ発生手段と、

前記コロナ発生手段で帯電された前記像を記録媒体に転写させる二次転写部と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記像が転写された前記転写ベルトの第 1 面に当接する第 2 の潜像担持体と、

前記トナーと同極性の第 2 のトナーと前記キャリア液とを含む第 2 の液体トナーで前記第 2 の潜像担持体を現像する第 2 の現像部と、

前記第 2 の現像部で前記第 2 の潜像担持体に現像された第 2 の像を前記転写ベルトに転写させる第 2 の一次転写部と、を有し、

前記コロナ発生手段は前記第 2 の像が転写された前記転写ベルトを帯電させる請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記第 2 の像が転写された前記転写ベルトの第 1 面に当接する第 3 の潜像担持体と、

前記トナーと同極性の第 3 のトナーと前記キャリア液とを含む第 3 の液体トナーで前記第 3 の潜像担持体を現像する第 3 の現像部と、

前記第 3 の現像部で前記第 3 の潜像担持体に現像された第 3 の像を前記転写ベルトに転写させる第 3 の一次転写部と、

前記第 3 の像が転写された前記転写ベルトの第 1 面に当接する第 4 の潜像担持体と、

前記トナーと同極性の第 4 のトナーと前記キャリア液とを含む第 4 の液体トナーで前記第 4 の潜像担持体を現像する第 3 の現像部と、

前記第４の現像部で前記第４の潜像担持体に現像された第４の像を前記転写ベルトに転写させる第４の一次転写部と、を有し、

前記コロナ発生手段は前記第４の像が転写された前記転写ベルトを帯電させる請求項１に記載の画像形成装置。

【請求項４】

前記第４の像が転写された前記転写ベルトをスクイーズするスクイーズローラを有し、前記コロナ発生手段は前記スクイーズローラでスクイーズされた像を担持する前記転写ベルトを帯電させる請求項３に記載の画像形成装置。

【請求項５】

前記コロナ発生手段は、前記トナーと同極性のコロナを発生させる請求項１に記載の画像形成装置。

【請求項６】

前記トナーは正極性であり、前記コロナ発生手段に印加するバイアスは正バイアスである請求項２に記載の画像形成装置。